

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	病児・病後児保育事業		担当部局庁	雇用均等・児童家庭局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成6年度		担当課室	保育課		橋本 泰宏		
会計区分	年金特別会計 (子どものための金銭の給付勘定)		政策・施策名	VI-2-3 保育所の受入児童数を拡大するとともに、多様なニーズに対応できる保育サービスを確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2		関係する計画、通知等	保育対策等促進事業の実施について (雇用均等・児童家庭局長通知 平20.6.9 雇児発第0609001号) 保育対策等促進事業費の国庫補助について (厚生労働事務次官通知 平20.6.9 厚生労働省発雇児第0609001号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保護者が就労している場合等において、子どもが病気の際に、自宅での保育が困難な場合に、病院・保育所等において病気の児童を一時的に保育するほか、保育中に体調不良となった児童の緊急対応等、安心して子育てできる環境を整備し、もって児童の福祉の向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	病児・病後児を病院・保育所等に付設された専用スペース等において一時的に保育する事業(病児対応型・病後児対応型)、保育中の体調不良児について緊急的な対応を図るほか、保育所における児童全体に対する保健的な対応や、地域の子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援を実施する事業(体調不良児対応型)、看護師等が病児・病後児の自宅において一時的に保育する事業(非施設型(訪問型))に対して必要な経費を補助する。 実施主体:市町村又は市町村が適切と認めた者(体調不良児対応型については、市町村又は保育所を経営する者) 補助率:1/3(負担割合:国1/3、都道府県1/3、市町村1/3(国1/3、指定都市・中核市2/3))							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	3,488	3,724	4,065	4,841	5,196	
		補正予算						
		繰越し等	▲808					
		計	2,680	3,724	4,065	4,841		
		執行額	2,680	3,073	3,381			
	執行率(%)	100.0%	82.5%	83.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は多様な保育サービスの推進に必要な経費であり、成果目標を示すことは困難である。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	病児対応型・病後児対応型 子ども・子育てビジョン(平成22年1月29日閣議決定) 平成26年度目標 延べ200万人		活動実績	延べ人数	380,000 (870,000)	440,000 (1,160,000)	490,000 (1,440,000)	- (1,720,000)
				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	体調不良児対応型 子ども・子育てビジョン(平成22年1月29日閣議決定) 平成26年度目標 すべての保育所において取組を推進		活動実績	か所数	403 (870)	444 (870)	507 (870)	- (898)
				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	非施設型(訪問型) 非施設型(訪問型)の実施か所数		活動実績	か所数	- (15)	0 (15)	1 (15)	- (15)
			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
単位当たりコスト	【病児対応型・病後児対応型】 年額 2,447千円(円/か所数) 【体調不良児対応型】 年額 1,350千円(円/か所数) 【非施設型】 年額 418千円(円/か所数)		算出根拠	平成24年度執行額/平成24年度事業実施か所数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	病児・病後児保育事業費	4,841	5,196	「子ども・子育てビジョン」の数値目標に基づく増				
計	4,841	5,196						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る事業であり、「子ども・子育てビジョン」に基づき、政府として取り組みを推進している事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		-	-		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉の向上を図る事業であり、「子ども・子育てビジョン」に基づき、政府として取り組みを推進している事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	事業を実施するために必要な経費の一部を保護者負担とすることができる。		
	単当たりコストの水準は妥当か。		○	人件費や備品費等の事業実施に必要な経費のみを補助対象としている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	都道府県・市区町村の負担割合が定められている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	人件費や備品費等の事業実施に必要な経費のみを補助対象としている。		
	不利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	活動実績が見込みよりも小幅の増加であった。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	毎年度の実績は小幅ではあるが着実に増加している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検結果	当該事業について、各点検項目による評価も概ね妥当と考える。活動実績は見込みよりも小幅の増加であったが、平成24年度において、病児対応型・病後児対応型は延べ490,000人の利用実績があり、引き続き、「子ども・子育てビジョン」に位置づけられている当該事業を推進することにより、子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを推進して参りたい。					
	外部有識者の所見					
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業の必要性などの評価は概ね妥当であることから、執行率を上げる工夫・改善を図ること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0855	平成23年	0762	平成24年	0670

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 3,381百万円

交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等

【補助】

A 都道府県・指定都市・中核市(106) 3,381百万円

都道府県(47)
2,305百万円

指定都市・中核市(59)
1,076百万円

市町村への間接補助

病児・病後児保育事業の実施

【補助】

B 市(区)町村(529)
2,305百万円

病児・病後児保育事業の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A.東京都			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
病児・病後児 保育事業費	市区町村に対する病児・病後児保育事業費 への補助	322			
計		322	計		0
B.世田谷区			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
助成費	実施施設に対する病児・病後児保育事業費 の助成	32			
計		32	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	市区町村に対する病児・病後児保育事業費の補助	322		
2	大阪府	市町村に対する病児・病後児保育事業費の補助	195		
3	千葉県	市町村に対する病児・病後児保育事業費の補助	105		
4	茨城県	市町村に対する病児・病後児保育事業費の補助	99		
5	福岡市	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	86		
6	山口県	市町村に対する病児・病後児保育事業費の補助	74		
7	大阪市	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	73		
8	横浜市	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	71		
9	石川県	市町村に対する病児・病後児保育事業費の補助	69		
10	静岡県	市町村に対する病児・病後児保育事業費の補助	66		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	世田谷区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	32		
2	練馬区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	19		
3	大田区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	16		
4	新宿区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	14		
5	葛飾区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	14		
6	板橋区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	13		
7	港区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	13		
8	品川区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	12		
9	江戸川区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	11		
10	豊島区	実施施設に対する病児・病後児保育事業費の助成	11		